

2025年11月期 第2四半期（中間期） 決算説明会

2025年8月5日
株式会社ノダ

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

目次

- グループの状況 P 3
- 連結業績概況 2025年11月期 中間期 P 9
- 連結業績予想 2025年11月期 通期 P22
- 配当予想 P29
- トピックス P31
- 参考資料 P33

グループの状況

グループの出資状況

【連結決算対象会社の状況】

《連結子会社》※出資比率：石巻合板工業(株)は80%、それ以外は100%

アドン(株)

(株)ナフィックス

スライNDER社 (インドネシア)

石巻合板工業(株)

アイピーエムサービス(株) *

(株)アリモト工業

* 石巻合板工業(株)の100%子会社

《持分法適用関連会社》※出資比率：49%

サンヤン社 (マレーシア)

【上記以外の状況】

《非連結子会社》※出資比率：100%

(株)巴川製作所

(株)アリモト工業

《資本提携》※出資比率：7.4%

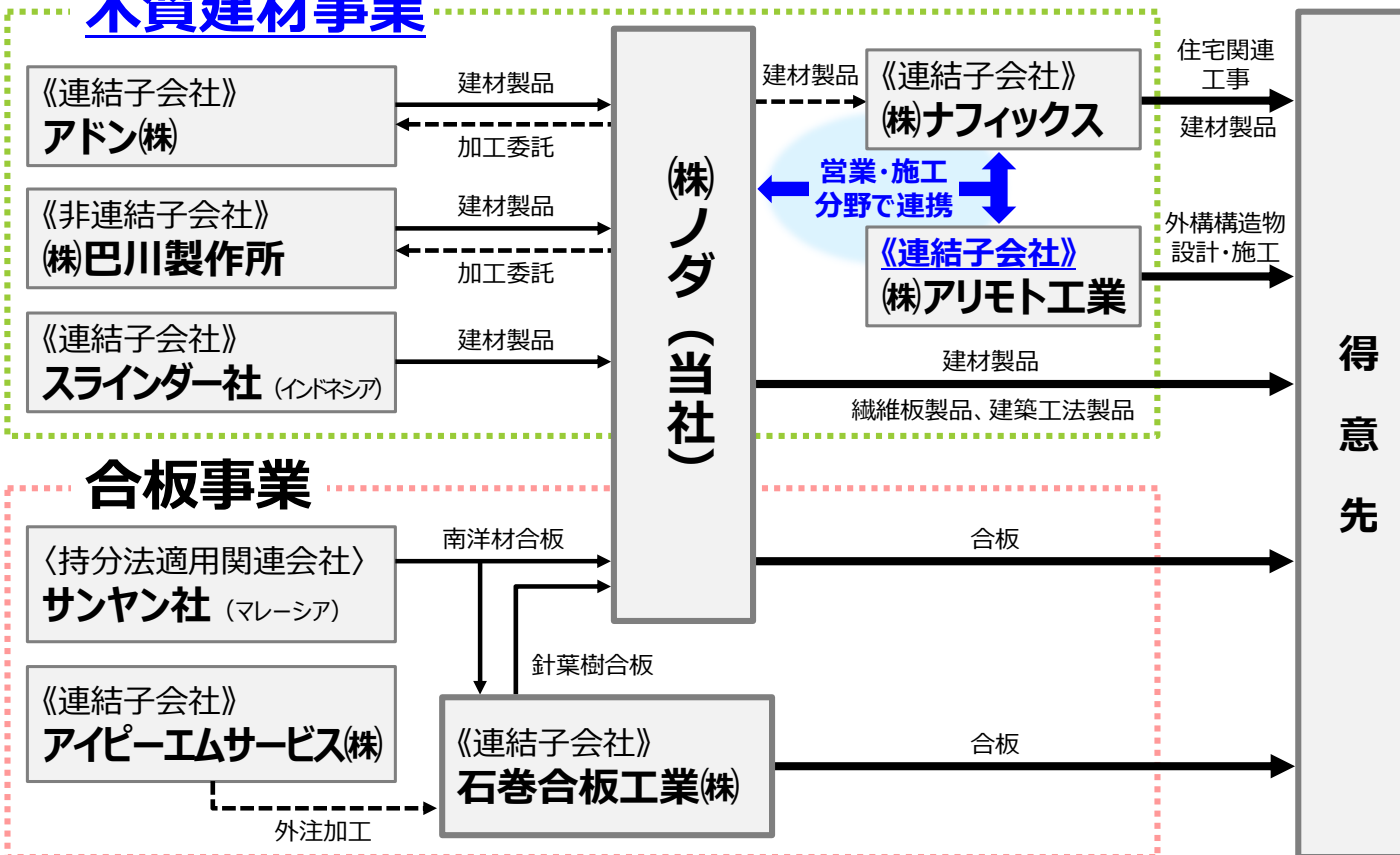
IFI社 (インドネシア)

2025年11月期より連結子会社化

グループの事業系統図

※2025年11月期より(株)アリモト工業を連結の範囲に含め、それに伴いセグメント名称を「住宅建材事業」から「木質建材事業」に変更

木質建材事業



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

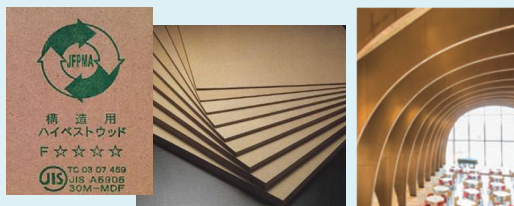
5

グループの事業分野（木質建材事業）

建材製品



繊維板製品



建築工法製品



外構構造物



【生産拠点】



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

6

グループの事業分野（合板事業）

国産針葉樹合板



構造用ヒノキ
ハイブリッド



針葉樹
構造用合板



オールヒノキ
（無節）



単板積層材
（LVL）

【生産拠点】



（株）ノダ 富士川工場
（静岡県富士市）



石巻合板工業（株）
（宮城県石巻市）

輸入南洋材合板



ラワン構造用
合板



塗装型枠用
合板



サンヤン社
（マレーシア）

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

7

グループの拠点概要

（2025年5月末現在）

営業拠点
49ヶ所

ショールーム
7ヶ所

生産拠点
7ヶ所

国内 4ヶ所
海外 3ヶ所
※資本提携先を含む



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

8

連結業績概況

2025年11月期 中間期

連結業績ハイライト（総括）

減収減益

（金額単位：百万円）	前期実績	当期実績	前年同期比
売上高	32,962	31,995	▲967 (▲2.9%)
営業利益	660	32	▲628 (▲95.1%)
経常利益	692	▲100	▲792 (—)
親会社株主に帰属する 中間純利益	▲1,645	▲367	+1,278 (—)

住宅業界を取り巻く事業環境

住宅需要の低迷

- ・建築費高騰、職人不足等を背景に、新設住宅着工戸数は低水準で推移
- ✓ 2025年4月1日施行の法改正(建築基準法、建築物省エネ法)前に起きた駆け込みの反動で、4～5月の着工数は大幅減

合板需要は弱含みで推移

- ・国産針葉樹合板：下落が続いた前期の反動で、相場は期初から緩やかな上昇傾向で推移
- ・輸入南洋材合板：需要の低迷が続き、相場は横ばいで推移

コスト高の継続

- ・資材価格、物流費、電力料等の上昇もしくは高止まり

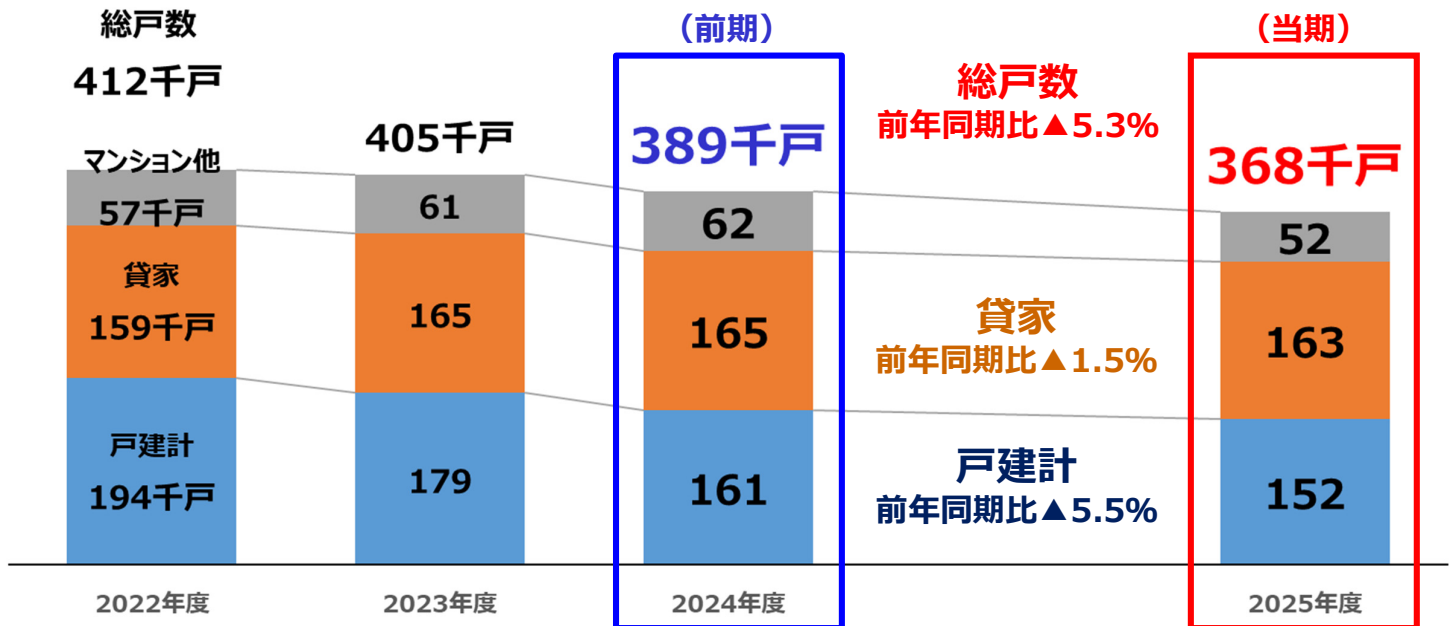
木質建材事業

2025年11月期
中間期

新設住宅着工戸数の状況（上半期）

- ・総戸数は前年同期比▲5.3%
（内訳：持家▲3.8%、分譲戸建▲8.4%、貸家▲1.5%）
- ・当社グループの販売に関係深い「持家＋分譲戸建」は同▲5.5%

※戸数は単位未満切り捨て



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

※各年度の期間は、12月～5月の6ヶ月間を示す

NODA

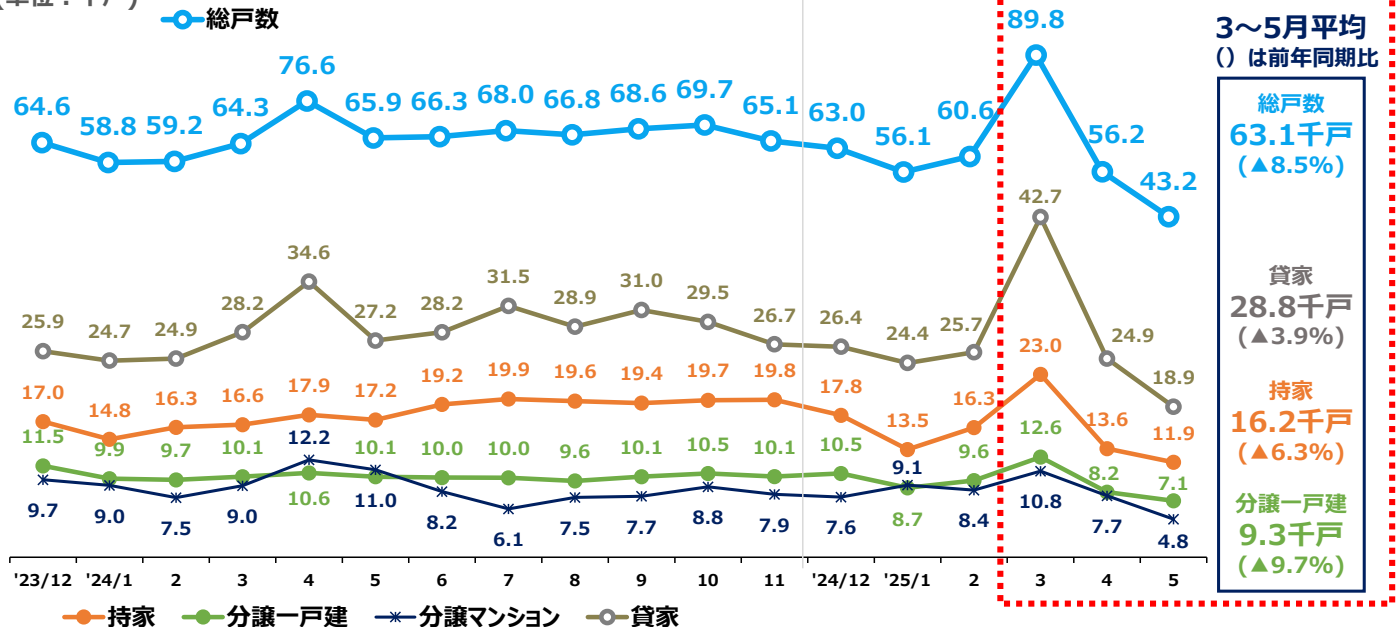
© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

13

新設住宅着工戸数の状況（法改正の影響）

- ・2025年4月1日施行の法改正（建築基準法、建築物省エネ法）前の駆け込みとその後の反動で、3～5月の着工数は大幅に変動
- ✓ 総戸数の前年同月比：3月＋39.6%、4月▲26.6%、5月▲34.4%

(単位：千戸)



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

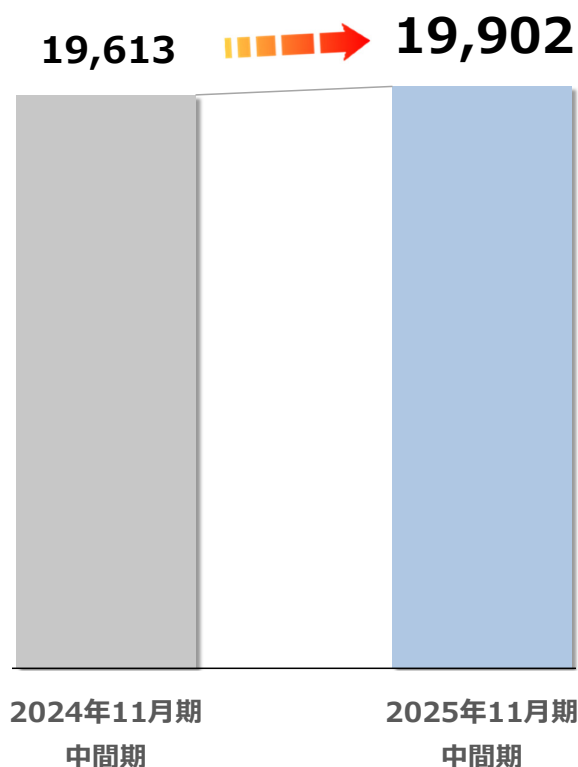
NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

14

連結業績のポイント（売上高）

（百万円）



木質建材事業〈要因〉

前年同期比 +288 百万円
（+1.5%）

- ・新築戸建以外の開拓
✓ 貸家・リフォーム市場等への提案を強化し、一定の成果
- ・構造用HBWの拡販
✓ 法改正を追い風にセミナー開催等の活動を徹底
- ・アリモト工業の連結化

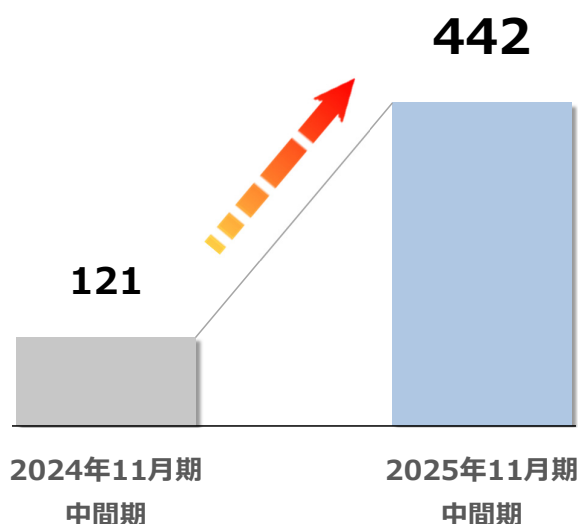
NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

15

連結業績のポイント（セグメント利益）

（百万円）



木質建材事業〈要因〉

前年同期比 +321 百万円
（+264.8%）

- ・生産性向上、コスト削減
✓ 原材料・製造工程の見直し
✓ 固定費のコントロール、等
- ・アリモト工業の連結化
- ・減価償却費の減少
✓ 前期の減損損失の影響

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

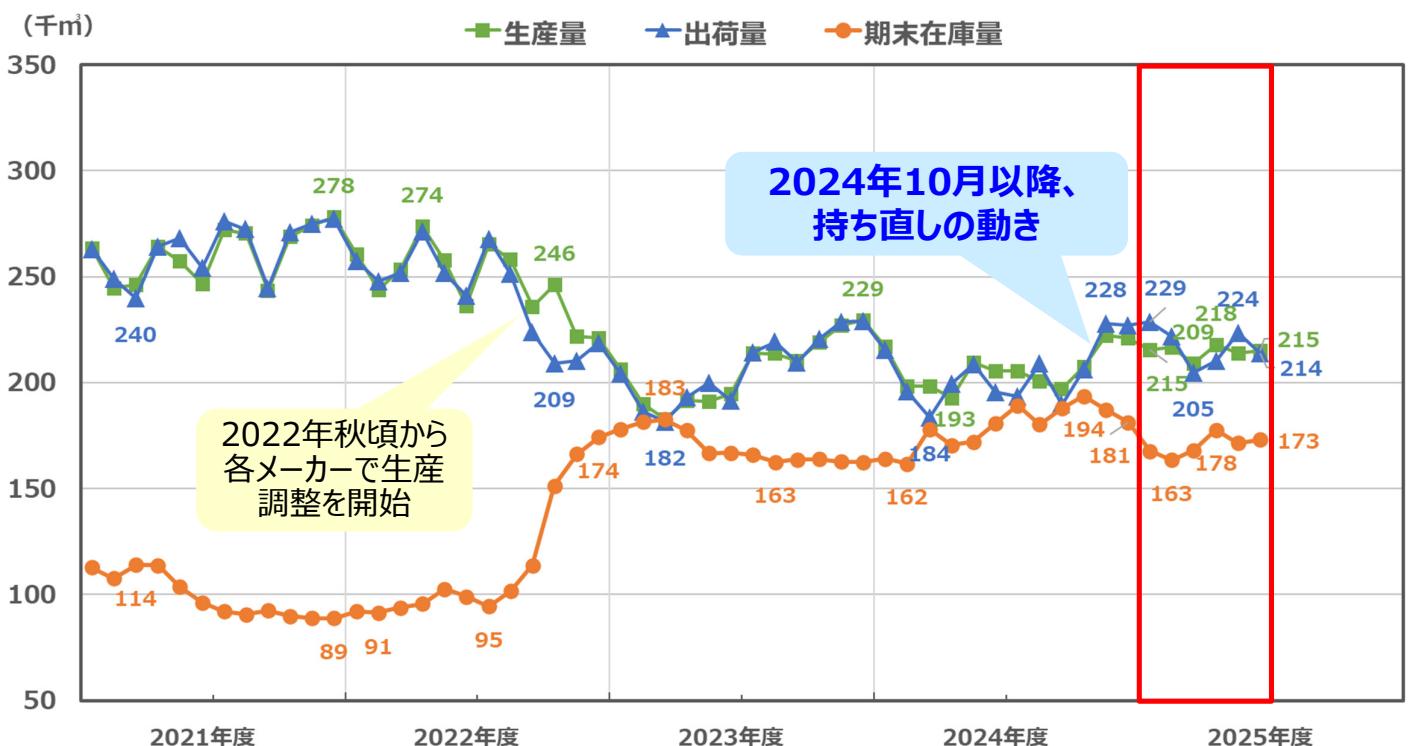
16

合板事業

2025年11月期 中間期

国産針葉樹合板 生産・出荷・在庫 推移

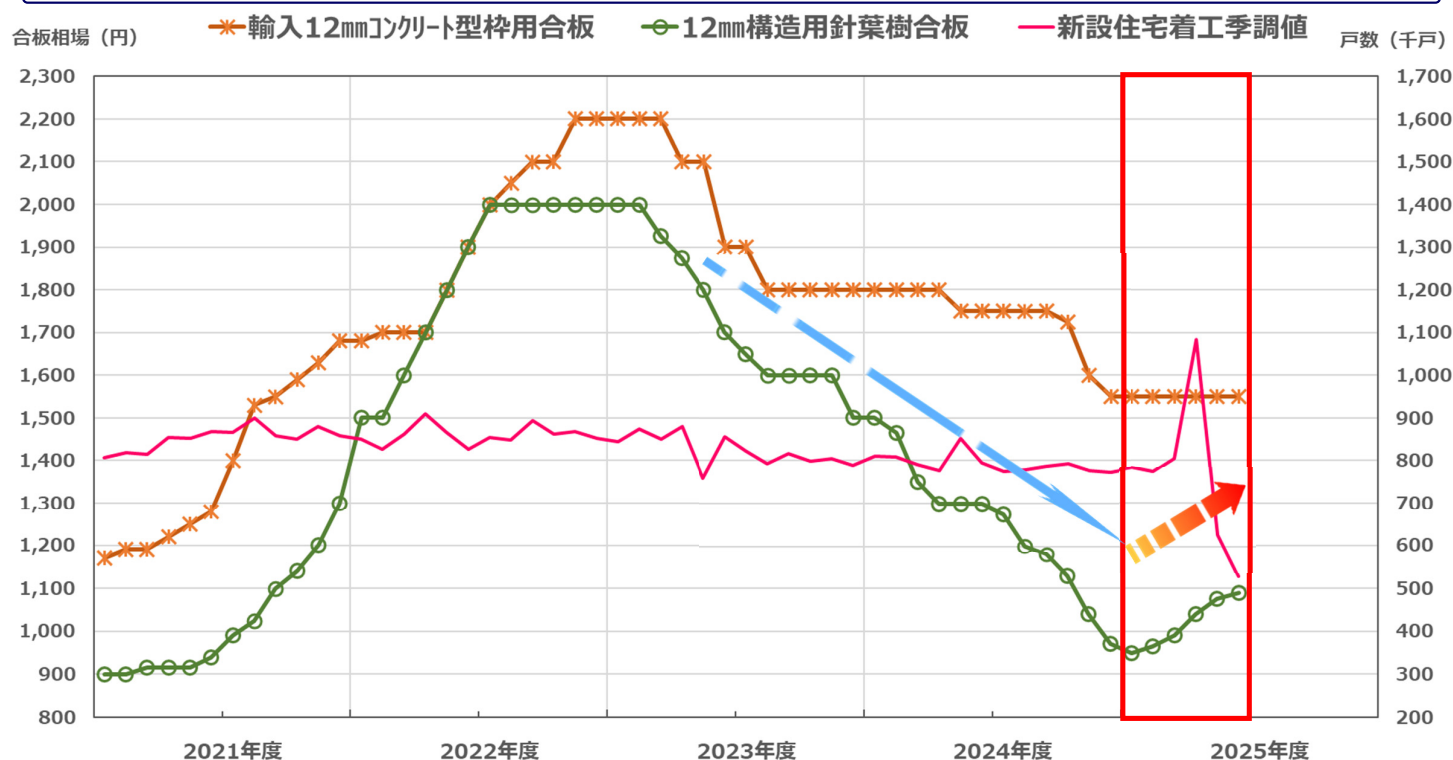
荷動きは盛り上がりを欠くものの、出荷量は前年同期比で増加



資料) 農林水産省「合板統計」

市場環境認識（合板相場）

需要は弱含みだが、針葉樹合板の価格は緩やかな上昇傾向に転じた



資料）日刊木材新聞社「相場表」（針葉樹合板、輸入合板）、国土交通省「住宅着工統計」

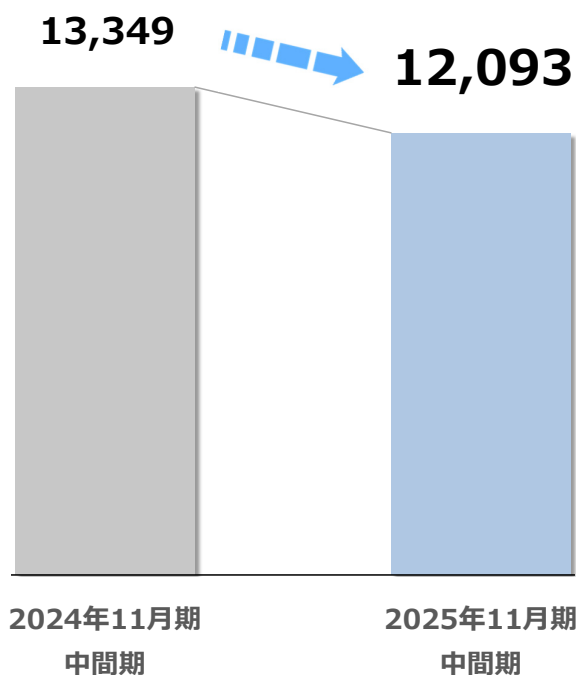
NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

19

連結業績のポイント（売上高）

（百万円）



合板事業〈要因〉

前年同期比▲1,256 百万円
（▲9.4%）

・販売価格の低下

- ✓ 国産針葉樹合板：
期初から緩やかな上昇傾向で推移したが、前年同期比では大幅に下回った
- ✓ 輸入南洋材合板：
前年同期を下回った

・販売量は微増

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

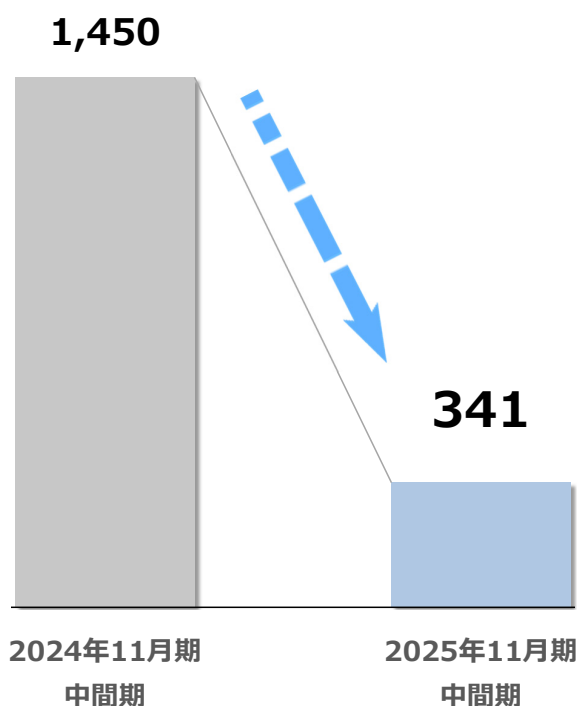
20

連結業績のポイント（セグメント利益）

（百万円）

合板事業〈要因〉

前年同期比▲1,109 百万円
（▲76.5%）



・国産針葉樹合板

✓ 販売価格が前年同期を大幅に下回った

・輸入南洋材合板

✓ 需要の低迷により仕入コスト高を販売価格に転嫁できず、低採算が続いた

連結業績予想

2025年11月期

連結業績予想ハイライト（総括）

通期業績予想は据え置き

	通期予想	前期比
売上高	67,900 百万円	+ 860 百万円 (+ 1.3%)
営業利益	600 百万円	+ 155 百万円 (+ 34.9%)
経常利益	800 百万円	+ 124 百万円 (+ 18.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	400 百万円	+ 5,012 百万円 (—)

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

23

下半期の事業環境

先行きは依然として不透明

● 住宅需要

- ✓ 法改正による着工数の一時的な落ち込みは、徐々に解消
- ✓ 4号特例の縮小により、工務店各社の設計・工法の見直しが進む
(太陽光パネルの搭載による建物の重量化も一因)
- ✓ 新築戸建需要の減退により、貸家需要は比較的堅調に推移
- ✓ 中古住宅の流通がさらに活性化

● 合板相場

- ✓ メーカー各社は国産針葉樹合板の値上げに取り組んでいるが、
需要の減少により販売価格は踊り場となる
- ✓ 国内の原木供給減少による原木相場の上昇

通期業績予想の達成に向けて、各取り組みに注力

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

24

下半期の取り組み（住宅市場）

新築戸建市場での競争力強化に加え、貸家・リフォーム市場のさらなる開拓によりシェアの確保に努め、収益改善を目指す

貸家市場のさらなる開拓 （木造遮音・防火工法の提案強化）

- ・床衝撃音を低減する工法を提案（集合住宅等の生活音対策）
- ・防音フロアと合わせて他の内装建材も拡販

➡ 新築戸建以外の事業領域へのシフトを加速

新築工法 遮音

木造で共同住宅をお考えの皆さま

木造遮音
防火工法 **シャ-オン**
遮音AON

遮音性能は、木造共同住宅の
新たなスタンダードに



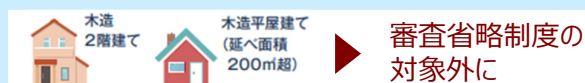
「HBW」（構造用面材）の さらなる拡販（2025年4月法改正対応）

各種セミナー等の開催を継続

流通と協力しながら、大工・工務店向けに
繰り返し地震に強い「HBW」を提案

4号特例の縮小 ≪建築基準法の改正≫

➡ 構造審査が必要な木造建築物が増える



省エネ基準適合義務化 ≪建築物省エネ法の改正≫

太陽光パネルの搭載、断熱材の増加などが見込まれる

- ➡ 建物の重量化に伴い、より高い構造強度が求められる
- ➡ 湿気を屋外に排出しやすい面材が求められる(結露防止)

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

25

下半期の取り組み（住宅市場）

新築戸建市場での競争力強化に加え、貸家・リフォーム市場のさらなる開拓によりシェアの確保に努め、収益改善を目指す

リフォーム市場への 提案強化

カナエル リフォームフロア
カナエル リフォームフロア VC

接着剤工法で、はく離れをはがして貼るだけ

カンタン省施工!

接着剤施工と
比較し発生時間
**約5時間
削減**

騒音・粉塵が少ないため
**集合住宅の
リフォームに最適!**

建築確認申請が不要

上貼りだけの省施工

遮音性能LL-45・LL-40は
維持したまま

防音直貼りフロアの上にも

直接貼れます!

高付加価値製品の 提案強化 (高意匠性、ペット対応等)



材工販売の拡大

(株)ナフィックスの施工エリア
拡大に向けた体制強化



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

26

下半期の取り組み（非住宅市場）

住宅以外の建築物や公共・商業空間へ事業領域を拡大し、
中長期的な成長を目指す

（株）アリモト工業と 営業・施工分野での連携強化

- ・アリモト工業が請け負った外構物件の施工を、ナフィックスが支援
- ・外構に関する知見・スキルを高め、さらなる支援強化
- ・アリモト工業の販路を活用し、中規模物件の獲得を図る



UD製品の提案強化 (高齢者施設・幼保施設)



下半期の取り組み（収益改善）

コストに見合った販売価格の設定（価格改定）並びにコスト削減、
生産性向上に努め、利益体質への転換を図る

・木質建材事業

- ✓ 物流費の上昇などコストアップに伴い、建材製品の販売価格を改定（6月受注分からフロア全般やHBWなど）

・合板事業

- ✓ 山元や産地の状況を注視し、適切な仕入を継続
- ✓ 市況の動向に応じた販売価格の設定

・グループ共通

- ✓ 原材料・製造工程の見直しをさらに推進
- ✓ 配送効率の向上

配当予想

2025年11月期

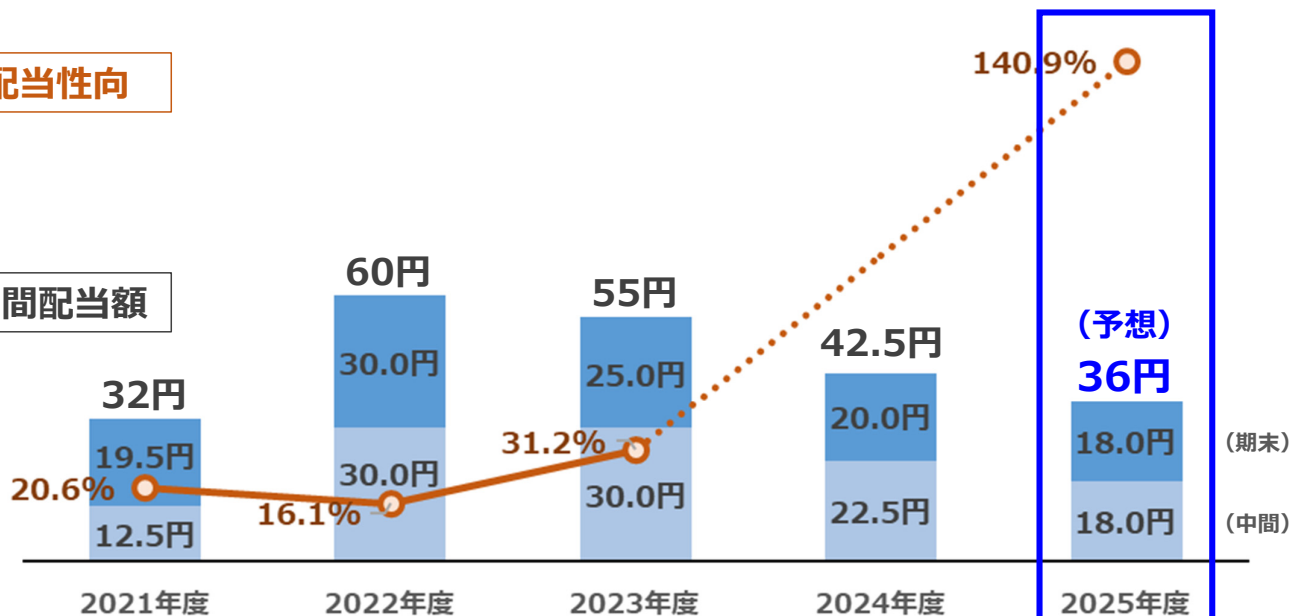
配当金の推移（直近5年間）

配当の基本方針：安定配当

- ・業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行う
- ・内部留保金については、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てる

配当性向

年間配当額



トピックス

産学連携による人材育成

- ・「ネイチャーポジティブ※」をテーマとする農学教育を推進するため、静岡大学農学部と産学連携協定を2025年5月に締結
- ・実践的な学びを通じて持続可能な社会の構築への貢献を目指す

※Nature Positive：自然再生もしくは自然再興。
自然生態系の損失を食い止め、回復軌道に乗せること。

「未来をつくる学び」の取り組み

1. 中庭整備と連動した実践学習

- ・大学構内中庭の整備事業を題材に、建築素材の循環利用や自然共生型空間づくりについて、学生が現場で学ぶことのできる農学教育を展開
- ・自然素材の可能性と空間設計における環境配慮を学ぶ貴重な実践機会を提供



2. 産学が共創する多様な学習機会

- ・当社がもつ木材加工やサステナブル建材の知見を活かし、座学に加え工場見学やフィールドワーク、共同プロジェクト型の学習機会を提供
- ・学生たちは、素材の生産から利用、循環に至るプロセスを実践的に学び、自然と共生する社会のしくみを多角的に習得



参考資料

「ビジョン2030」経営理念

現在ならびに将来の様々な環境変化に対応し、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、2021年2月に経営理念を改訂

ビジョン2030 木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

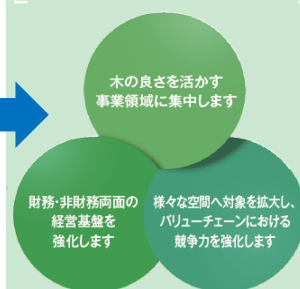
【ミッション】社会に果たすべき使命

- ・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
- ・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】理念実現のための共通の価値観
共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



「ビジョン2030実現のための経営戦略」



「理念実現のための基本姿勢」



「ビジョン2030」環境への取り組み

快適な空間創造に寄与する製品を提供し、持続可能な森林循環に貢献し続けるため、SDGsの以下の目標達成に取り組む

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



目標11 「住み続けられるまちづくりを」

誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。



目標12 「つくる責任つかう責任」

持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。



目標13 「気候変動に具体的な対策を」

気候変動の原因となる温室効果ガス（主に二酸化炭素）を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。



目標15 「陸の豊かさも守ろう」

森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

35

中間期 連結業績推移（直近5ヶ年）

（金額単位：百万円）	2021年度 中間期	2022年度 中間期	2023年度 中間期	2024年度 中間期	2025年度 中間期
売上高	30,983	38,641	35,314	32,962	31,995
営業利益	1,563	4,694	2,578	660	32
－ 営業利益率	5.0%	12.1%	7.3%	2.0%	0.1%
経常利益	1,738	4,985	2,691	692	▲100
－ 経常利益率	5.6%	12.9%	7.6%	2.1%	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,051	2,983	1,565	▲1,645	▲367
総資産	60,765	70,768	74,015	74,733	73,097
純資産	31,749	37,242	42,466	42,594	38,394
自己資本比率	47.0%	47.0%	50.8%	49.9%	45.3%

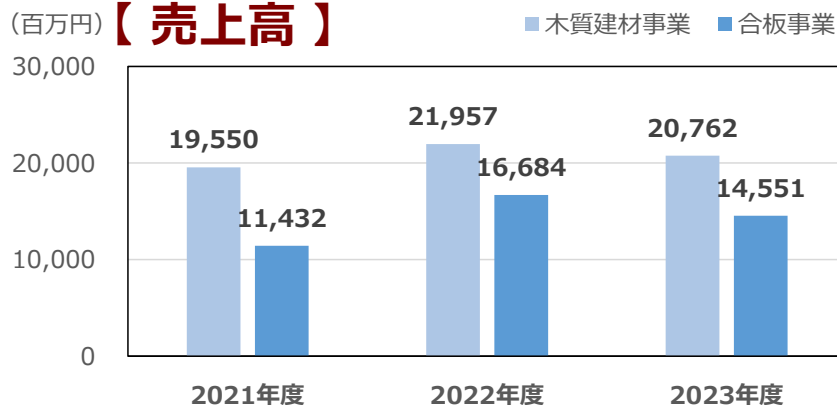
NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

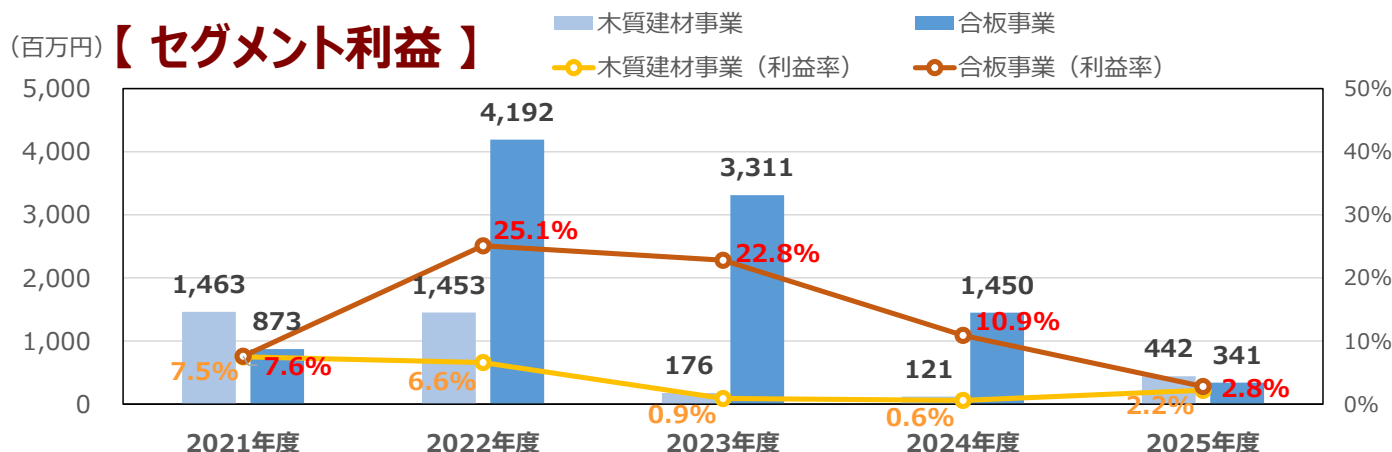
36

中間期 セグメント業績推移（直近5ヶ年）

（百万円）【売上高】



（百万円）【セグメント利益】



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

37

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Environment

【国産材の活用】

健全な森林の整備と CO₂の削減に貢献

MDFや国産針葉樹合板の原材料として国産材(間伐材・未利用材等)を積極的に活用



【廃木材の活用】

森林資源の保護に貢献

再生資源・未利用資源である廃木材をチップとしてリサイクルし、エコ素材であるMDFを製造



住宅解体作業等から出る
廃木材チップ

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

38

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social 【職場環境の改善】

【目的】社員一人ひとりの働きがい向上
風通しの良い主体性のある職場風土の実現

学び舎

若手や未経験者を中心に必要なスキルの習得と業務効率向上を目指し、勉強会を定期的に実施



サポーター研修※

若手社員への助言や指導、精神的なサポートを強化し、未来を担う意欲ある人材を輩出

※一般的には「メンター研修」と呼ばれるものを当社では「サポーター研修」という名称で実施

有資格者待遇改善

事業の正常な運営、社員のモチベーション向上を目指し、業務に必要な資格を取得した際の手当や祝い金を贈呈



ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social

静岡県「ふじのくに森の防潮堤づくり」に協力

植栽林を潮風や砂から守る木杭材料として、合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を寄贈し、地域社会に貢献(累計97,560本、2025年1月末時点)



本取り組みが貢献する SDGs の目標



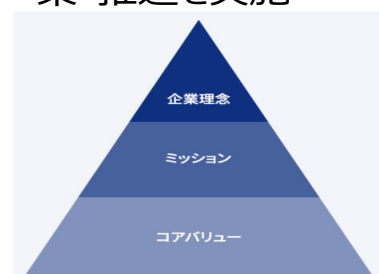
株式会社ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



Governance

理念・ビジョンの浸透

- ・経営トップ自らが継続して社内に発信
- ・ビジョンの実現に向け、テーマ別に戦略の立案・推進を実施





株式会社ノダ IR情報

<https://www.noda-co.jp/corporate/ir>



IRに関するお問合せ先 info-ir@noda-co.jp

本資料は情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。
また、本資料に掲載されている計画や見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、今後様々な要因によって、本資料とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。